

## 「早春の川越をあるく」～酒蔵と高松海岸～（報告）

平成25年2月24日（日）9時から13時に開催しました。

町内で最も古い寺院・高松山善養寺、足上げ祭りで有名な八幡神社、地元の酒蔵・早川酒造部、北勢地域に唯一干潟が残る自然海岸・高松海岸を、協議会委員らの解説を交えてウォークしました。

当日はこの冬最強の寒波襲来となりましたが、82名の参加者は小雪舞う中、約6℃の道のりを寒さも忘れてウォークしました。



川越富洲原駅に集合、協議会会長挨拶、諸連絡の後国道1号沿いを歩きました。



善養寺・・・川越町で最も古い寺院。  
蓮如上人縁のお寺で境内には上人が滞在した折に種を蒔いたといわれる「菩提樹」があります。  
ご住職よりお寺のいわれなどお話を伺いました。↓



足上げ祭りで有名な八幡神社。



## 龍宮池

昔、日照りが続いて百姓が困った時、朝明川尻で雨乞いをしたところ、神社境内の池に水が湧いてきたので、驚いた村人たちはこれを龍宮池と呼ぶようになりました。以来、旱魃になると、この池で雨乞いをしたという伝説が残っています。



初夏には海岸一帯、ハマヒルガオの群生が見られます。

川越町近辺で唯一残された砂浜で、堤防下には花崗岩粒の白砂が広がっています。



## 早川酒造部

江戸時代から米穀商を営んでいた初代早川半三郎が、明治六年に現在の四日市市天力須賀で酒造りを始めたのが最初となります。

その創業の地の地名の「天」と、天下一品の酒を目指すという初代の願いから、主力銘柄「天一」が命名されたそうです。

参加者たちは、日頃見られない酒蔵の様子を見学し、丁寧な解説も聞くことができ、興味が深まったようです。

また、甘酒の振る舞いや、新酒の試飲に大いに満足し、好評を得ることが出来ました。

ご参加いただきました皆様ありがとうございました